

会議名称	平成23年度 タウンミーティング
日時及び場所	24年2月20日(月) 於: 役場402会議室 午後1時30分~午後3時00分
出席者	町側: 町長、企画課長、生活環境課長、企業誘致推進課長、都市計画課長ほか 一般参加者: 4名
<p>企画課長</p> <p>町長</p> <p>企画課長</p>	<p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>本年は、東日本大震災の復興に向けて様々な道筋を、国・地方・地域で取り組む重要な年でもある。一方では、世界経済等日本経済がどう関わっていくか重要な課題の年でもある。</p> <p>当町におきましては、昨年来からエコタウンを推進しようと関係各位の協力を頂きながら進めているが、本日は、町民の皆様の様々な考えを聞かせていただきたく開催した。エコタウンづくりの重要性については、担当のほうから説明をする。私が一番重要だと認識している所は、これからの日本の新しいまちづくりのあり方に迫るものとして、あるいは、モデル事例として、寄居町は最適ではないか。またそういう方向に、皆様の英知を結集して住民の皆様とともに推進していければと思っている。そうすることによってコミュニティ等の諸課題が解決されていく。エネルギー問題に対しても大きな役割を担うという可能性を寄居町はもっている。豊かな自然を活かして、大規模技術ではなく、地域における適正なサイズの科学的なテクノロジーを駆使して、エネルギーの効率的な創出を考えてのエコタウンづくりが出来るとは思わないかと思う。さらには、これからの新しい時代のコミュニティビジネス等の雇用の創出にもつなげることが出来れば、さらにすばらしいことになるのではないかと考えている。</p> <p>いずれにしても、エコタウン作りは行政だけがリードする事ではなく、民間として地域住民の皆さんとの連携によって前進していくことが肝要であると考えている。本日のミーティングが、寄居町のまた、日本社会全体への新たな歩みだしの大きな一歩になることを願っている。ぜひとも積極的なお話を頂ければと思っている。</p> <p>3 職員紹介</p> <p>4 進行方法の説明</p> <p>本日は、ご案内のとおり「エコタウンの推進について」というテーマについて、タウンミーティングを行う。はじめに、資料に基づいて「エコタウンの基本的な考え方」を担当課から説明をする。この後、懇談ということで、テーマに沿った意見交換に入る。今回は少人数なので、ざっくばらんな話し合いが出来ればと考えている。終了時間については、3時を予定しているので進行に協力をお願いします。本日のタウンミーティングの会議録については、名前など個人情報伏せて、他の内容は公開とするため、録音をすることをご了承いただきたく願います。</p>

	<p>資料に基づいて、「エコタウンの基本的な考え方」について担当の企業誘致推進課から説明をする。</p>
企業誘致推進課長	<p>5 「エコタウンの基本的な考え方」についての説明</p> <p>6 意見交換</p>
企画課長	<p>意見、質問がありましたら。</p>
参加者 A さん	<p>エコ通貨という言葉が出てくるが、具体的にどんなかたちで通貨として、価値を持たせて、どこでどの様に使えるのか。</p>
企業誘致推進課長	<p>通貨というと、コインを思い浮かべるが、最近はカード社会なのでカードを想定している。現在、健康福祉課が紙ベースで健康チャレンジポイント事業を実施しているが、これを少し拡大して、色々なポイントを集めることによって、例えば太陽光パネル一枚を購入できる位のポイント制にして、色々なところで利用できるものにしたと考えている。実現に向けて考えている。</p> <p>秩父では、和銅コインで行っている。寄居町では、カードをうまく使っていきたいと考えている。</p>
参加者 A さん	<p>寄居町の規模では、電子化はコストが合わないと思う。実際どんなふうにするのか解りにくかった。話を聞いても、これからということで、果たしてどういう物になるのかなかなか理解できない。</p>
企画課長	<p>他にご意見は。</p>
参加者 B さん	<p>庁舎の節電に成果を上げたが、更なる節電に向けて、自然エネルギーを利用し、購入電力を限りなくゼロに近づける方法も考える。町外に向けてのアピールにもなるし、更に町のエコタウン精神にもつながるのではないかという私の意見である。寄居町は、山林が町の面積の約 25% を占めている。この山林の整備を町民のボランティアの手を借り、林業に携わっている方達の協力もいただき、燃料化を進め木質バイオマスの分野も広げていけたらという意見も持っている。</p> <p>それと、小さな河川が寄居町には沢山あるので、小水力発電も蓄電池と組合せ、街灯も LED に替えれば電力の購入の量も減っていくのではないかという意見を持っている。</p>
企画課長	<p>他にご意見は。</p>
参加者 C さん	<p>企業誘致推進課長に質問であるが、新聞でメガソーラーが寄居町に決定したとなっていたが、新聞報道が先になったということか。</p>

<p>企業誘致推進課長</p>	<p>場所的には決定したという話である。県が直接実施するのではなく、民間事業者が設置して、県の土地を利用してもらう。民間事業者の公募について、電力の買取り価格が決定した時点をめどにすすめて、早ければ来年できるのかなと県も考えている。ただ単に太陽光パネルを置くだけであれば、それ程時間はかからないが、それだけでは面白くないので、地域のためになるような事業者からの提案を県は考えている。メガソーラーを進めるということについては、会議に地元の皆様にも出席していただいて、議会でも説明をしている。そういう中での新聞報道であると思う。</p>
<p>参加者 C さん</p>	<p>震災直後、ソフトバンクの孫さんがお金を出して実施するという話とは全く別の話なのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>別の話である。</p>
<p>参加者 C さん</p>	<p>買取り価格が決定して、採算が合わないと民間事業者が判断した場合、この話は無かったことになるのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>他の実例などを見ると現実的に実施されている。実現可能ではないかと見ている。</p>
<p>参加者 C さん</p>	<p>7 ha の土地に太陽光パネルを設置するということであるが、実現可能か。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>今やパネルは、メーカーで普及している。現実的には難しいことではないと思う。</p>
<p>参加者 C さん</p>	<p>設置場所は県の土地である。住民に対してどのようなメリットがあるのか。送電線に電気が流れてくる間にかなりロスがあると聞いている。新潟の原発からこちらに来る間 7 割減になると聞くと、メガソーラーの電気を地元が安く使えるとか何らかのメリットがあるのか。単に太陽光パネルがある町ということだけではなく、住んでいる私たちにメリットがあるのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>一番簡単なメリットは、太陽光パネルを置くことによって、固定資産税が入る。すぐに目に見えるものは少ないが、皆さんの提案を受け付けて、民間の事業者を公募する。電力が落ちるということは、専門家に聞いてみたい。</p>
<p>企画課長</p>	<p>他にご意見は。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>太陽光パネルを置く 7 ha の土地は、今更地なのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>三ヶ山環境整備センターの埋立地で、埋立てをして平らになっている。ただガス抜きがところどころにある。そこを避けて設置する。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>ただ平面の上に置くのではなく、工場を誘致して、その屋上にソーラーパネルを</p>

	設置したほうが立体的に土地が使えるのではないか。
企業誘致推進課長	埋め立ては、サンドイッチ工法で埋め立てている。そのため、基本的に建物を建設するためのパイル等を打つことができない。
参加者 A さん	一般的に盛土して、転圧を行えば、早い時期に家は建っている。きちっと転圧をかけてもダメなのか。
企業誘致推進課長	埋立て跡地への建築については、基礎等が打ち込めないと許可にならない。従ってパネルを置く台程度のものはできるが、利用できるのはその程度である。
参加者 A さん	太陽光パネルを置く程度その他、利用価値は無いということか。
企業誘致推進課長	運動場などは可能である。
参加者 A さん	建物は出来ないということか。
企業誘致推進課長	トイレなどの簡単なものは出来る。住宅などは難しい。なお、資源循環工場の隣の 4 0ha のⅡ期事業の土地には、工場群を誘致して、太陽光パネルとかエコ化をしてもらうことも考えているという状況である。
参加者 A さん	先程、他の方から山林を活用してバイオマスの薪にするなど燃料に変える話が出た。昨年、常木山の南面に太陽光設備を設ける等の話を聞いたが、そういうことは考えているのか。
企業誘致推進課長	寄居警察の裏から円良田までの間は、町有地が多い。孫さんのプロジェクトの 4 0ha の土地が有るのかという話になれば、有るということになる。その後、孫さんのプロジェクトは進んでいない。ただ話が出たことによって法案も通ったようなので、一方ではメリットがあったのかなと思う。有効活用はしなくてはと思う。
参加者 A さん	常木山の 4 0ha の土地に太陽光発電設備を置くという話は、私はどうしてそう言う考え方をしたのか疑問に思う。太陽光発電は光を受けて発電するということその裏側には光が当たらない。家庭でも南側は草で大変だが、北側はそうでもない。太陽光発電を設置したところの下は植性が壊される。草も生えなくなってしまうということはどういうことになるのか。ハイキングコースで岩の出ているところもある。表土が少ない。木も草も無いところに雨が降ると表土が流されて大変なことになる。日陰の影響は大きい。 同じようなことが 3 年半くらい前に、松江から出雲大社を結ぶ、一畑電鉄と言う鉄道会社であった。線路が東西に長く走っているので南斜面が多く、そこに太陽光発電設備を設置するという話があった。工業高等専門学校の教授が持ってきた話だという。常木山と同じで南面を草が覆い、盛土を保護している。そう言う所で日陰

<p>企画課長</p>	<p>を作って電気を起しても鉄道の輸送の安全はどういう風に担保されるのか。話を戻すが、常木山でもそのことは全く同じ事だと思う。ぜひそういう話はやめてもらいたい。</p> <p>対案としては、田畑の遊休農地になっている所に所有者の理解を求め、国道や線路に近い所から優先的に太陽光パネルを設置する事を進める。人目につき大勢の人にPRできる。他でやっていないことを進んで実施して欲しい。</p> <p>他にご意見は。</p>
<p>参加者Dさん</p>	<p>一番目に7haの太陽光発電はどの辺の電力を賄うことを想定しているのか。二番目に太陽光発電の耐用年数は何年と考えているのか。これも数年後には廃棄物になってしまうので知りたい。三番目に玉淀発電所が民間になったという事であるが現在の状況は。今後の寄居町への電力供給の可能性はどうか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>一番目については、まだわからない。</p> <p>二番目について、メーカーによれば耐用年数は17年から20年とのこと。</p>
<p>参加者Aさん</p>	<p>京セラが最初に開発して30年大丈夫のようだ。ただ直流を交流に変換するインバーターが半導体でできているため、その半導体の寿命が15年から20年と聞いている。部分的に交換が必要だが時代の進歩によって部品がなくなる。新しいものにした方が安価ということもある。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>三番目について、玉淀発電は民間になったので内容の把握はしていない。Bさんが言っていた、小水力発電等の計画があれば積極的に協力をしてもらえるとこの話はある。状況についてはわからない。今の所、特別に問題もないので順調だと理解している。</p>
<p>参加者Aさん</p>	<p>町が小水力発電をやろうとする場合、水利権の問題はないのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>水利組合には事前に話をし、協力を頂く。寄居町はもともと保水能力が少ない。雨が降れば山にためないですぐに荒川に流れてしまう。安定した水量は無いのかなと思う。わずかな流れでも溜めて落とせば出来るのかなとは思う。</p>
<p>参加者Aさん</p>	<p>考えられるのは、風布川ぐらいかなと思われる。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>どんなかたちがいいのか考えてみたい。水車を作っても水車を回す水量がない。冬場は特に。水車の大きさにもよるが。</p>
<p>参加者Aさん</p>	<p>荒川の水は落差がないが水量はある。それを利用することを検討したらどうか。末野日山から象ヶ鼻まで、次は子持瀬から玉淀大橋下流まで、景観を損なわないかたちで利用出来るのではないかと。水量は年間を通してあると思う。</p>

町長	それに適合するマイクロ水力発電の技術というかそういう芽があるか。
参加者 A さん	あると思う。現代農業という雑誌がある。田舎の田んぼの用水路で発電している例などが載っている。容量としては数キロワットのものだと思うが、荒川の水量だったら落差はなくても、数メートル数十メートルでかなりの容量の発電は出来るのではないかと思う。費用対効果で、買った電気の方が安いとか、太陽電池がいいとか、色々な考え方が出てくるかと思う。水力発電の場合、水利権が一番の問題とされている。荒川の場合、所管は国土交通省なのか。
企業誘致推進課長	所管は、花園橋までが国土交通省で、その上流は埼玉県。上水道の治水をするだけでも水利権の問題はあるため、きちっと話をして進める必要がある。
参加者 A さん	水を干害に使うとか、工場用水に使うとか水を使ってしまうのではなく、水力発電は、水を戻すのだから全く水量は変わらない。そういう所にも水利権が働くのか。エネルギーも含めて水利権というのか。
町長	広い視野で捉えると、再生エネルギーを日本社会が、どこまでの割合で位置づけたのかという中での法整備が必要。エネルギーのスマートグリッド化に向けては、蓄電機能のアーキテクチャーが重要でありその部分をどうするか。採算コストとか、地域社会におけるエネルギーの地産地消の問題やら、今後この辺の問題を社会全体がどう位置づけたらいいのか、逆に政府は脱原子力とか自然エネルギーを日本社会でどう位置づけていくのか色々な合理的な仮説とか、それぞれの立場の人が提案していく、そうした中で政府がこれまでの考え方やまた大企業の考え方から新しいビジョンを選択する道筋に向けた展望が考えられる。今の時点では、正直既存の色々な考え方の中での選択から少々脱皮する様な、再生エネルギーの買い取り価格をどうするのかというくらいがせきの山である。
参加者 A さん	水力発電のエネルギー源は一定に来るので、蓄電設備とかの考え方はいらないと思う。太陽光発電の場合には蓄電設備にお金がかかって大変だと思う。特別な部屋を作ったり、長くても 7・8 年で部品を交換しなくてはならない。その時に出てくる物は、硫酸とか鉛とか嫌われるものばかりで非常にお金がかかる。そういうことであれば、スマートグリッドの考え方で、全体的な大きなネットワークとしてコントロール出来るものを国は考えている。そういうものに乗っかっていくほうが町としてはいいのではないか。
町長	A さんは、どこで情報を得るのか解らないが、スマートグリッドを今の A さんの認識している諸状況の中で、進めるほうが合理的だという判断は何に基づいているのか。
参加者 A さん	新聞とかニュースである。 さっき申し上げた、休耕農地等に太陽光発電を設置して、あちこちで発電し、それ

	<p>をコントロールしていくのもスマートグリッドで管理する。大きなものでなければミニグリッド・マイクログリッドもっと小さいピコグリッドでやっていければ良い。こういう制御システムを導入するのも国やメーカーの責任だと思う。こういったことへの手の挙げ方として、こういうことをこうに制御したらどうなるか、だいそれた大きな話になるが、寄居町から提案していくのも一つだと思う。</p>
町長	<p>ぜひそういう提案を結びつけていきたいと思う。ただ大きく捉えると、結局色々な所で電気を作っていて、ワンウェイでどこかがやっていると、結局いまでも同じ構造だが、深夜電力は安いということで、そこで蓄電が必要になる。例えば水エネルギーに変えてもいいし、そこら辺で、専門家の人に聞いても蓄電はどうコントロールするのは大切だと聞いている。</p>
参加者Aさん	<p>太陽光発電というのは、蓄電設備を設けてやったのでは絶対発展しないと思う。さっき申したようにお金がかかりすぎる。</p>
町長	<p>スマートハウスの中で最もお金がかかるのが太陽光パネルと蓄電のコストである。</p>
参加者Aさん	<p>沢山の家の屋根に太陽光パネルがあるが、おそらく蓄電池はないと思う。今は電力会社が蓄電池の変わりをしている</p>
企画課長	<p>では、他の方</p>
参加者Bさん	<p>貯水力ですが、確かに水量のある河川はない。小さな物をまとめて、自然エネルギーを広く利用できる街づくりを広げる。寄居町は沢山の可能性を持った町だと思う。里山は手入れが出来ていけば循環してエネルギーが供給できる。民間の力を借りて手入れし、そこで出た間伐材等を利用しエネルギーとして使える状況を作る。先程のスマートグリッドの考え方でそこで焼却して発電をしながら熱エネルギーを地域に供給する。蓄電池もこれからどんどん安くなると思う。そういうことを視野に入れながらスマートグリッド化の町を目指していくのも一つの考え方だと思う。</p>
参加者Cさん	<p>質問ですが。エコタウンの主な取組例として、ニュータウンの整備とあるが、町が指導して、宅地として販売する計画なのか。</p>
企業誘致推進課長	<p>町が販売することは無い。指導することはあっても販売はしない。民間の参画を頂いての話である。</p>
参加者Cさん	<p>整備とあっても、民間は採算が合わない、商品としての魅力がないとすれば、販売はしない。町は予算を投じてやろうとする考えなのか。</p>

企業誘致推進課長	今後考えていく必要がある。後期計画の中にも重点事業の一つとして組み込んである。
参加者Cさん	緑のカーテン設置補助制度は温暖化防止という意味であると思うが、具体的にどういう方法なのか。
生活環境課長	窓面、壁面等に設置するつる性の植物の棚、支柱、苗等について少額の費用を補助する制度である。新年度から予定をしている。
参加者Cさん	学校の芝生化に対して緑のカーテンの補助金を出せるのか。
生活環境課長	今は緑のカーテンしか考えていない。
都市計画課長	小学校とかの大規模な芝生化は、県から補助金がもらえる制度がある。
参加者Cさん	知っているが、町が2分の1お金を出さなければいけない。芝生化についての町長の考え方を聞きたい。
町長	エコタウン、イコール芝生化は考えにくい。様々な状況が考えられる。エコタウンの中で芝生化の状況も考えられるが、一概には言えない。
参加者Cさん	町長は芝生化のイメージは考えにないか。
町長	優先順位としては、エネルギーの方が先。エコ通貨など、ソフトの仕組みが大事であると考えている。
企画課長	他にエコタウンの推進について意見があるか。
参加者Bさん	エコ通貨というのがあったか、ボランティアを募ったときその対価として、ニコニコ商店会のカードを活用しながら、地域にお金を落とす仕組みを活用する。行政に頼らないように、いままでの民間で道普請などを復活する考えがある。出てきた人にポイントをつけるとか、そういうシステムが有効なのかなと思う。
企画課長	他にご意見は。
参加者Aさん	先程、循環工場で発電をしているとっていたが、エネルギー源は何か。
企業誘致推進課長	オリックス資源循環工場の中で、廃棄物を利用して発電している。
参加者Aさん	どんな廃棄物か。

<p>企業誘致推進課長</p>	<p>産業廃棄物、一般廃棄物である。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>それを燃やしてエネルギーにしているのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>焼却し、溶融化している。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>焼却した熱で発電をすることだと思うが、どのくらいの容量か。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>13.5 メガである。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>随分大きい量である。その関連だが、寄居町では焼却場について、どの様な考えを持っているのか。ごみ焼却で発電をしている所が沢山ある。今は委託しているが、独立して焼却し、エネルギーを取り出して使う。エコロジーの考え方から町の計画のなかに入れていく考えはないのか。 焼却場とか火葬場は嫌悪施設である。難しい問題だがその中で発電したり、熱を使って老人ホームを作ったり温水プールを作ったりしている。そういった考え方でやったらどうか。</p>
<p>生活環境課長</p>	<p>現在までの状況としては、過去において寄居町では末野でごみ焼却をしていた。ダイオキシン対策の施行に際し、小規模焼却炉を廃止し、大里広域市町村圏組合でごみ焼却を行うことになった。組合のごみ焼却場は、熊谷市内と深谷市内に 4 工場あり、それぞれが日量百トン以上の焼却能力を持っている。私の知る限りでは、日量 3 百トン程度の焼却がないと発電規模ではないと聞いている。現在の 4 工場も大変老朽化していて、修繕しながら使用しており、将来は新工場を作っていかななくてはならない状況である。その新工場を計画していく中で、発電が出来る能力のある設備等についてもいろいろな意見を聴きながら検討されると思う。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>寄居町の規模では持ち上がらない話かもしれない。人口が減少傾向にあるようであるが、新聞報道として 2013 年の秋までにエコ住宅を 4 百戸建設するとあった。そこに入る人はどの様に手当するのか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>一つの試案であり、一度に 4 百戸できるとは限らない。エリアとしては 4 百戸出来るという想定の話である。2013 年に出来るということではない。</p>
<p>参加者 A さん</p>	<p>場所がどこということではなく、トータルで 400 ということか。</p>
<p>企業誘致推進課長</p>	<p>企業が、こちらに進出してくれば従業員も来る。全員が住むわけではないが、A さんが言っていたように寄居から新たなモデルケースの発信をする必要がある。それにはエコタウンを進め、若い方に住んでもらうにはどういうものかいいのか町長も先頭に立って考えている。方向付けのために本日もタウンミーティングを行って、意見を拝聴している。</p>

参加者Aさん	<p>田んぼを埋め立てて作ったアパートに空き室が増えている。そういう中で少し気になった。また、寄居町の太陽光発電の補助金は、既築住宅に限っているのは何か理由があるのか。新築住宅に設置したほうが色々な面でコストが安く出来るのではないかと思うが。</p>
生活環境課長	<p>寄居町は新築でも既築住宅でも補助している。県では平成 23 年度から新築住宅に補助しなくなったと思う。</p>
企画課長	<p>他にいかがか。</p>
参加者Dさん	<p>エネルギーの地産地消についてであるが、環境整備センターは、県単位の地産地消に当てはまると思うが、今の段階で寄居町での地産地消はどのようなイメージなのか。</p>
企業誘致推進課長	<p>ニュータウンの中にどういう形で電力を供給するのか等専門的な企業からアドバイスをいただきながら計画づくりを進めている。色々なケースが考えられる。地産地消を目指すための研究段階である。</p>
参加者Dさん	<p>今、町として具体的に見えているのは、エコ住宅・エコタウンか。</p>
企業誘致推進課長	<p>それだけではなく、例えば庁舎の全ての電気をLEDに替えるとか、街路灯・防犯灯もLEDに替える。全町的に替えてゆく。お金があればすぐに変えられるがそういう訳にもいかないため、徐々に変えていくための研究を行っていく。</p>
参加者Dさん	<p>国道254号沿いのベシアの隣にカインズホームができる。何か働きかけはしないのか。</p>
企業誘致推進課長	<p>町も積極的に関与している。カインズホームの関連のベシアが本庄に本社機能に移転して来る。本庄もエコタウンの候補地の一つであるから、そういう事が積極的に伝わっていると思う。新たな店舗のため、有効的にエコを取り入れていくと思う。こういった企業と連携できればと考えている</p>
参加者Dさん	<p>大きな意味でエコタウンを目指そうということで地域住民、地域事業者、あらゆる角度で協力を求めていくのが良い。生活の中の身近なところで電力関係ではないが、大型店舗ではレジ袋不用と言うと、ポイントが貰えたり、2円引が主流になっている。現金でマイナス2円の方がエコが進むように感じる。町内商店も取り入れるべき。商店主任せではなく町も積極的に推進して欲しい。</p> <p>また、個人住宅から出るゴミの削減も積極的に進める必要がある。資源ごみとして、菓子折りの箱を入れていいのかとか、生活の中で意外と細かいところの分別がわからない。細かい所をホームページに載せたらいいと思う。</p>

